

SS 探究 II B

インフラさるく 事前指導

令和4年5月18日(水)、6月1日(水)の2回に渡って、地域連携講座「2022年度長崎街道インフラさるく」の事前指導を行いました。

1回目の5月18日(水)は、前半に長崎大学大学院工学研究科 出水亨(デミー博士)先生より、「インフラの見方や守り方」のテーマで講義をしていただきました。コンクリートの弱点とそれを補うための技術やインフラを守るための最新の技術について学ぶことができました。なかでも、土木工学とは「構造物のお医者さん」というフレーズがとても印象深く、普段何気なく通っている道路や橋などのインフラについて新たな視点で考える貴重な時間となりました。後半は、4つの班(インフラ・歴史観光・防災・街づくり)に分かれ、今後の探究テーマの設定に向けた話し合い活動を行いました。鎮西学院大学現代社会学部 礒本光広先生、基盤教育センター教授 吉野浩司先生に各テーマにおける視点やアプローチの仕方などをご指導していただき、今後の方向性を決めていきました。

2回目の6月1日(水)は、鎮西学院大学 礒本先生より「DX とデータサイエンス教育」、吉野先生には「みんなで解決しようー問題の出し方と解き方」のテーマで講義をしていただきました。礒本先生の講義では、DX(デジタルトランスフォーメーション)により生活がより便利になることや、今後の発展の可能性について学ぶことができました。吉野先生の講義では、よりよい「問い」の条件について学び、今後の探究テーマを具体化していく際のヒントを得ることができました。



写真 左上：出水先生による講義の様子
左下：班別活動の様子

写真 右上：礒本先生による講義の様子
右下：吉野先生による講義の様子